

単元の目標

P548～552に挙げられている疑問詞表現が用いられている英文を辞書なしで日本語に訳せる

※この分野は二次試験の和訳に出てきたときのためだけに学びます。

◎この単元は中学校で習ったものがほとんどなので、まだ授業で触れられていない新しい部分のみを以下で解説します。具体的にはP548～552が対象となります。この中で覚えておいてほしいものだけを以下にpick upしておきます。

★1 How come S V 「どうして～なのか」

p548の2にあるように、「～なのは何ですか?」という感じで、何かを問い詰めるニュアンスがあります。

(例)

Mother: How come you got so muddy!? 母: 「どうやったらそんなに泥だらけになるの!？」

★2 What is S like 「Sはどのようなもの(人)か」

p549の3にあるように、「人の性格や様相」を聞きたいときに使います。並べ替え問題で出されると最後にlikeが来ることを念頭に並び替える必要があります。

★3 What becomes of A? 「Aはどうなるのか」

p550にあるように「心配したいとき」に使います。

(例)

What becomes of Ken? He looked dying yesterday. 「ケンはどうなった?昨日死にそうな顔色だったけど」

★4 What if S V 「～したらどうなるのか」

p551にあるように「不安な気持ち」や「提案」するときに使います。

(例)

What if it rains tomorrow? 「明日雨降ったらどうしょ」

What if you say so? 「そう言ってみたらどう?」

今日は非常に短くなりました。次回が最終回「代名詞」になります。